

令和4年度 事業報告

1 文化振興

(1) 公式ホームページ, Instagram, Twitter による情報発信開始 (4月～)
(2) 日本遺産ガイド養成講座実施事業 ・日本遺産「大谷石文化」ガイド中級講座 (受講者 21名中 19名修了 第1回: 11/26, 第2回: 12/3, 第3回: 1/14, 第4回: 1/28)
(3) 「大谷石文化学」の市民講座実施事業 ・大谷石文化を学ぶ連続講座 第1・2講: 8/27「建築デザインを学ぶ」受講者 75名 第3・4講: 9/3「人と自然の景観を学ぶ」受講者 63名

2 観光振興

(1) 大谷地域における「グリーンスローモビリティ」の運行 (5月～11月)
(2) 市内小学生を対象にした大谷ガイドツアー (11/25) 【宇都宮市文化財ボランティア協議会】

3 普及啓発

(1) 「大谷石文化」の一般向け書籍制作・出版 (5月～3月)
(2) FMラジオ「ミヤラジ」での大谷石文化の紹介 (5/20) 【宇都宮市文化財ボランティア協議会】
(3) 東武鉄道西川田駅舎でのPR用ポスター掲示 (R4.8～)
(4) 大谷石フォーラム【宇都宮まちづくり推進機構】(第22回: 11/19)
(5) 宇都宮競輪場での第5回 大谷石文化日本遺産記念杯・第44回スポーツニッポン杯開催 (1/11～1/13)
(6) 日本遺産「里沼」セミナーでの講演 (群馬県館林市) (1/29)
(7) 「千百年を紡ぐ八王子織物展」でのパネル等展示 (1/28・1/29)
(8) 日本遺産の日PRイベント (東京都有楽町) (2/11・2/12)
(9) 日刊スポーツ新聞への大谷石文化広告掲載 (2/15)
(10) 宇都宮美術館での「二つの教会をめぐる石の物語」【宇都宮文化創造財団】(2/19～4/16)
(11) 大谷石文化サポーター制度運用開始 (3/20～)

4 その他

(1) 会議開催 ・協議会幹事会 (第1回 4/18, 第2回 3/28) ・協議会総会 (5/23) ・日本遺産連盟幹事会 (第1回 6/30, 第2回 2/10)
(2) 日本遺産フェスティバル in 関門 (10/29・10/30)

令和4年度の主な事業内容

1 日本遺産「大谷石文化」ガイド中級講座運営業務及び大谷石文化学連続講座運営支援業務

受託者：近畿日本ツーリスト株式会社 委託料：2,700,060円

(1) ガイド中級講座

【内 容】

昨年度実施した『「大谷石文化」のストーリー伝え方講座』につづき、宇都宮市を訪れる方々に向けて、「文化財や史跡めぐり」など基本的な知識を提供するだけでなく、「大谷石文化」のストーリーにそったコースづくりを自らできるガイドを育成するため、全4回の講座を実施し、うち1回は市内において、プロガイドによる実地研修を行った。

受講対象は、令和元年度、3年度実施「大谷石文化」のストーリー伝え方講座修了者又は市内でのガイド活動に従事している方とした。

「大谷石文化」ガイド中級講座（全4回、受講者数：21名(19名修了)）

第1回：令和4年11月26日（土） 栃木県教育会館大会議室

第2回：令和4年12月3日（土） 宇都宮市中央生涯学習センター

第3回：令和5年1月14日（土） 大谷地域実地研修，栃木県教育会館大会議室

第4回：令和5年1月28日（土） 栃木県教育会館小ホール



(2) 大谷石文化学連続講座

【内 容】

日本遺産に認定された「大谷石文化」について広く市民に周知することを目的に、各分野の専門家による講座を実施した。

- ① 建築デザインを学ぶ 令和4年8月27日(土) 受講者 75名
- ・「大谷石の町並みと建物の類型学について」 講師 千葉大学 安森 亮雄
 - ・「大谷石の建材としての魅力について」 講師 建築家 榎田 倫之
- ② 人と自然の景観を学ぶ 令和4年9月3日(土) 受講者 63名
- ・「大谷石と江戸時代の石切の暮らしについて」 講師 國學院大學栃木短期大学 坂本 達彦
 - ・「大谷の魅力ある景観について」 講師 市文化財ボランティア協議会 大塚 雅之



2 普及啓発事業

(1) 「大谷石文化」の一般向け書籍制作・出版

受託者：(有)随想舎

委託料：990,000円

【内容】

宇都宮市に連綿と培われてきた、日本遺産「大谷石文化」の歴史や採掘産業に携わった人々の営み等を、市民をはじめ国内に分かりやすいかたちで普及させるため、宇都宮市大谷石文化推進協議会が依頼した執筆者の原稿を編集し、一般向け書籍の出版及び全国販売を行うための委託を行った。



(2) 日本遺産PR用ポスター作成業務

受託者：(株)松井ピ・テ・オ印刷

印刷製本費：28,600円

【内容】

いちご一会とちぎ国体（第77回国民体育大会）の競技会場隣接駅である東武鉄道 西川田駅の利用者増加が見込まれることから、大谷石輸送の歴史や大谷地域及び市街地にある日本遺産構成文化財等を紹介するポスターを作成し、駅構内で展示を行った。



(2) 日刊スポーツ新聞への大谷石文化広告掲載

【内 容】大谷地区に関する観光誘致 PR 広告の掲載を日刊スポーツ一面記事下に掲載
 掲載エリア 東京本社版 801,966 部 (宅配 69.0% 即売 31.0%)



3 その他事業

(1) 日本遺産フェスティバル in 関門での周知啓発活動

【内 容】日本遺産連盟総会への出席, 2 日間の PR ブース出展を行った。

令和 4 年 10 月 29 日 (土)・30 日 (日)

- ・日本遺産フェスティバル in 関門
 - 日本遺産公開講座
 - 日本遺産分科会
 - ワークショップ (大谷石コースターづくり等)
 - 日本遺産連盟総会 等

